

4 下都賀地域

栃木市、小山市、下野市、壬生町、野木町、岩舟町

(1) 地域の概要

本地域は県南東部に位置し、耕地面積の約74%が水田、26%が畑の平地農業地帯です。また、首都圏に近く、高速道路が整備されるなど交通アクセスに恵まれています。

(2) 農業の特徴

いちご・トマトを中心とした施設園芸や露地野菜など、園芸が農業生産の過半を占めています。また、県内最大の二毛作地帯として米・麦・大豆等が栽培されるとともに、肥育牛主体の畜産経営が展開されています。

(3) 農業農村の状況

本地域の水田整備率は県平均を上回り、農業生産性や農村の生活環境の向上等が図られてきましたが、担い手への農地利用集積率は県平均を若干下回っています。

渡良瀬遊水地周辺に造成された大型排水機場など生産基盤を支える農業水利施設がありますが、多くの施設が標準的な耐用年数を迎え機能低下が懸念されています。

豊かな田園の恵みを活かして、農産物直売所や農村レストランが数多く設置され、活発な都市農村交流が行われています。今後は、さらに地域の魅力を引き出す取組を充実させることが求められています。

図-1 水田要整備面積と水田整備率と担い手への農地集積率（水田）

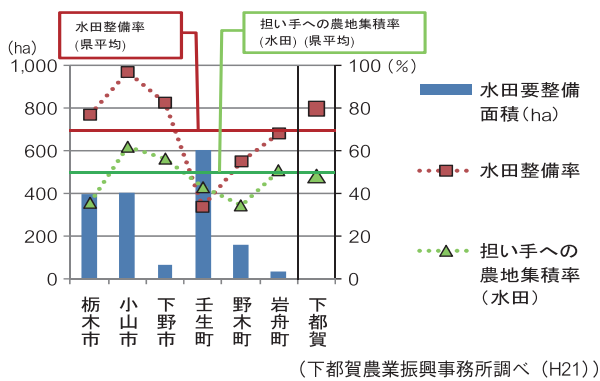


図-2 耐用年数を迎える基幹的農業水利施設の推移

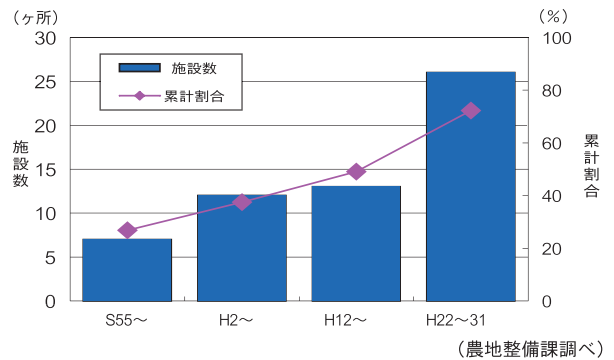
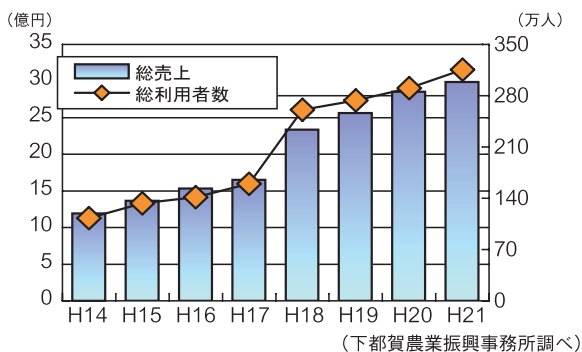


図-3 都市農村交流施設年間総売上と総利用者数



保全対策工事を待つ間々田乙女排水機場 (小山市、野木町)

(4) 各地域の取組

■基本目標

地域農業の持続的発展を支えるため、担い手を核とした農業構造の確立と農業生産基盤の整備・保全を推進します。

また、豊かで美しい農村環境を維持保全するとともに、自然・歴史・伝統文化などの多彩な地域資源を有効活用した魅力ある農業農村づくりを進めます。

目標指標	基準年 平成21年度	目標年 平成27年度
○担い手への農地利用集積増加面積 ※平成15年度以降着工のほ場整備事業地区	92ha	168ha
○基幹的農業水利施設の機能保全計画策定数（累計）	11箇所	29箇所
○都市農村交流施設利用者数	315万人	400万人

■重点取組

(1) 意欲ある担い手を支える基盤整備を推進します。

優良農地の確保と合わせて意欲ある担い手への農地利用集積を促進し、土地利用型農業の経営基盤強化を推進します。

また、コスト縮減や地域のニーズに応じた新技術等の導入を積極的に図り、米・麦・大豆の二毛作や地域の振興作物の栽培に適応できるよう基盤整備を推進します。

(2) 農業水利施設の適切な整備・保全を推進します。

ストックマネジメントの理解促進を図り、施設管理者である土地改良区等の体制強化を支援します。また、排水機場などの農業水利施設の機能診断とそのデータの管理・運用により、安全かつ適切な整備・保全を推進します。

さらに、施設の長寿命化に向けて、地域の協働による点検、簡易な補修、泥上等の取組を促進します。

(3) 美しい農村環境・豊かな農産物を活かした都市農村交流の促進を図ります。

いちご・フルーツ・かんぴょう等の特色ある食材を活かした食の街道づくりなどを通じて、地域の多彩な資源と豊かな農産物を結び付け、地域の魅力の再発見とPRを積極的に進めます。

また、歴史的価値のある農業施設の継承や農村景観・生態系への配慮対策の充実を図り、美しい農村環境を維持保全します。



汎用化された圃場での転作作物（大豆）の栽培（野木町）



更新整備された川島堰（栃木市、小山市）



賑わう観光いちご園（栃木市）